

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大東小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的に学び、一人ひとりが『深い学び』に到達する」ことを目標に掲げ、次の資質・能力の育成を図る。 ・教育DX推進による主体的に学ぶ児童の育成 ・一人ひとりが自らの可能性を伸長する力の育成
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ児童と一人ひとりが自らの可能性を伸長する力の育成に向けて ・振り返り活動を充実させることで、本時の学習について整理分析を行い学習への取り組み方を見直したり、次時以降へ改善を図ったりできるようにする。 ・個別最適な学びや協働的な学びの場の設定、場を選択する機会を設ける。 ・教科の横断的な関連や系統性を意識した指導を目指し、カリマネマップの活用を図る。

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①調査の振り返り(4月) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①調査結果分析(管理職・学年主任等) ②結果分析(学年・教科担当) ③児童生徒の実態把握 ④夏期職員研修等
↓		
学力向上策の 見直し	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①調査結果分析(管理職・学年主任等) ②結果分析(学年・教科担当) ③児童生徒の実態把握 ④夏期職員研修等

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所